

議会運営委員会調査報告書

1 調査事件

議会報告会のまとめについて

2 調査の経過

前記事件を調査するため、平成 27 年 6 月 15 日及び 23 日に当委員会を開いた。

(1) 出席した委員

鈴木 逸朗 湊本 稔 波多野 優 日下 茂
木村 圭介 村田 公夫 能見勇八郎（議長） 山本 正之（副議長）

(2) 欠席した委員 なし

3 議会報告会の開催概要

議会基本条例及び議会報告会の開催及び運営に関する要綱に基づき、5 月 13 日、15 日、18 日、20 日、22 日の 5 日間、5 会場で議会報告会が開催された。

議会からは、各会場に議長を含めて 9 名の議員が、分担して参加し、パワーポイントも活用して、「朝来市の『まち・ひと・しごと創生総合戦略』について」のテーマに基づいて報告を行った。

別紙 1 のとおり市民など延べ 202 名が参加され、延べ 36 名からの発言があり、129 名からのアンケートが寄せられた。

4 市民の発言について

各会場での市民の質問、意見等の発言は、延べ 36 名、36 件であり、別紙 2 のとおりである。

市民の発言は、議会活動に関するものは議会運営委員会に諮り、市政要望に対するものは市長に報告するとともに、請願、陳情の取扱に準じて所管の常任委員会に回付することとした。またその取組内容については、議会広報や今後の議会報告会などで、市民への広報に努めることとする。

5 市民からのアンケートについて

参加した市民の 6 割を超える、129 名から寄せられたアンケートの集計結果は別紙 3 のとおりである。

アンケートに記入された数多くの質問や意見、要望などについても、市民の発言に準じて取り扱うこととするが、記入者が必ずしも公表されることを想定していないこと、記載内容から特定の個人が推定できるものもあるため、委員会としては議員のみへの配布とし、対外的には公表しないこととした。

6 委員会のまとめ

- ・ 今回は報告テーマを一つにしたことで、議会からの報告時間の短縮により、市民の発言時間を増やすことができ、会場による差はあったものの市民との意見交換も旺盛に行われた。その結果アンケートでも、報告会を「評価」とするとの回答は、引き続き 6 割弱となっている。

- ・ 今回も開催会場数を5会場とし、議会としてはゆとりを持って運営にあたることができた。しかし参加者数は引き続き減少し、会場での意見やアンケートでも指摘されている。区長会や自治協議会への協力依頼や、開催周知の方法などについても見直すべき内容がある。市政や議会への市民の関心も変わってきているものの、議会基本条例制定の初心に帰った取組も必要と思われる。
- ・ 議員の報告は、パワーポイントや問答形式など、よりわかりやすく努められ、市民の評価も高い。しかしアンケートでは、説明内容について「わかりやすい」との回答が、前年度に比べおよそ2割低下している。
また議会での審議内容と経過を明らかにする点では定着してきているが、「議員間において多様な意見がある事項については、報告または応答に反映させるよう努めるものとする」ことについては課題として残されている。

以上、朝来市議会会議規則第103条の規定により報告します。

平成27年6月26日

議長 能見 勇八郎 様

議会運営委員会
委員長 鈴木 逸 朗